



第25回 文化庁 メディア芸術祭

25th JAPAN MEDIA ARTS FESTIVAL

フェスティバル・プラットフォーム賞 募集要項

文化庁メディア芸術祭実行委員会

目次

フェスティバル・プラットフォーム賞について / 映像コンセプト	2
賞 / カテゴリー / 審査基準 / 募集期間	3
応募条件 / 審査委員 / 審査用資料 提出物	4
応募方法	5
受賞後の制作物	6
指定フォーマット	8
応募規定特記	9
個人情報について / ご質問・ご相談について	10
Q&A	11

フェスティバル・プラットフォーム賞について

文化庁メディア芸術祭と連携する機関・団体において、設備・施設等の特性を活かした新しい企画展示案を公募し、優秀な作品に対して賞を贈呈します。受賞作品は、文化庁メディア芸術祭の受賞作品展にて展示されます。

第 25 回の作品募集について

今回は、日本科学未来館の球体展示に関する作品を募集します。募集の対象となるのは、以下の条件をすべて満たした作品です。

- ・球面、またはドーム用の作品
- ・映像作品、またはリアルタイムに映像生成と上映が可能なアプリケーションプログラム作品

※フェスティバル・プラットフォーム賞へ応募したものと同一の作品を、アート部門・エンターテインメント部門・アニメーション部門・マンガ部門に応募することはできません。

日本科学未来館の球体展示

日本科学未来館には2つの球体映像システムがあります。1つはシンボル展示、球体ディスプレイの「ジオ・コスモス」、そしてもう1つは全天周立体映像システムを備えた「ドームシアターガイア」です。

ジオ・コスモスとドームシアターガイアは、球体映像を対象としているという点で共通であり、両者の違いは球体を外から眺めるのか、内から眺めるのかという“視点”です。球体映像は、視点が変わるだけで、コンテンツの捉え方や体験が大きく変わってきます。ジオ・コスモスは好きな視点を選び、時には移動しながら球体の外側を眺める体験ができ、一方のドームシアターガイアは定位置に座り、映像と音に包まれ、球体の内側で没入感を得ることができるという特徴があります。

そこで、それぞれの球体映像の特徴を活かした表現に注目し、「ジオ・コスモス カテゴリー」と「ドームシアター カテゴリー」の2つのカテゴリーで作品を募集します。

「ジオ・コスモス」とは・・・

日本科学未来館のシンボル展示である「ジオ・コスモス」は、宇宙から見た輝く地球の姿を多くの人と共有したいという初代館長毛利衛の思いから生まれました。同じ映像をさまざまな角度から見ることができ、且つ、正面が存在しないその映像プラットフォームは、平面映像の規則から放たれた、自由な映像表現を可能とします。

「ドームシアターガイア」とは・・・

ドームシアターガイアは、直径 15.24 m、傾斜角 23°のドーム型スクリーンに、全天周映像を4Kの解像度で2D及び3Dで投影することができる球体映像システムです。

映像コンセプト

「新しい世界の共有 ～世界のいまを映す～」

現代社会でさまざまな課題に直面するわたしたちは、「いま」という時間を共有しています。それは同じ船に乗っているクルーという見方もできます。持続可能な未来へ向けて動きはじめた世界の「いま」をリアルに映し出すことにより、世界と「わたし」とのつながりが身近に感じられるような素敵な作品をお待ちしています。球体ディスプレイという特徴を活かし、いま目の前に広がる世界を分断することなく描き出し、その認識を変えていく新たな視点の表現に挑戦してみてください。

賞

フェスティバル・プラットフォーム賞（文部科学大臣賞）

ジオ・コスモス カテゴリー：賞状、トロフィー、副賞 50 万円

ドームシアター カテゴリー：賞状、トロフィー、副賞 50 万円

カテゴリー

ジオ・コスモス カテゴリーについて

本カテゴリーでは、日本科学未来館のシンボル展示「ジオ・コスモス」で上映する多視点からの鑑賞を想定した映像作品、またはアプリケーションプログラム作品を募集します。応募作品は、企画案、未完成品、完成品のいずれかとします。



【参考】以前日本科学未来館にて実施された「ジオ・コスモス コンテンツ コンテスト」の作品を、以下のページでご覧いただくことができます。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLkb9PWPgGLjHUWn05JgOfXi9BZuP9su8y>

ドームシアター カテゴリーについて

本カテゴリーでは、日本科学未来館の「ドームシアターガイア」で上映する映像作品、またはアプリケーションプログラム作品を募集します。応募作品は、企画案、未完成品、完成品のいずれかとします。



© 4D2U Project, NAOJ

審査基準

コンセプト性： 映像コンセプトを理解し、取り入れた作品構成であるか。

表現力： 映像表現としての完成度や美しさがあるか。

技術力： ジオ・コスモスまたはドームシアターガイアそれぞれのプラットフォームの特性を考慮しているか。

オリジナリティ： 作者独自の視点が魅力的に取り入れられているか。

実現性： 作品を指定のフォーマットに適した形で完成させることが可能か。

募集期間

2021 年 7 月 1 日（木）～ 9 月 3 日（金）日本時間 18:00 必着

1. 応募申込

ウェブサイトによる申込み

2. 審査用資料の提出

ウェブサイトによる提出

※作品の応募には、「応募申込」と「審査用資料の提出」が必要です。

※応募する作品数に制限はありません。同一の作品を両方のカテゴリーに応募することも可能です。

審査： 2021 年 9 月～2022 年 3 月

受賞発表： 2022 年 3 月 予定

受賞作品展： ※開催時期・場所については決定次第、公式ウェブサイトでお知らせします。

応募条件

下記のすべての条件を満たすことを必ず確認の上でご応募ください。

- 作品の著作権を応募者が有すること。
作者（著作権者）以外の方が応募する場合は、必ず著作権者に承諾を得てください。
※応募規定特記を必ずお読みいただき、同意の上でご応募ください。
- 作品に下記の内容が含まれないこと。
 - ・公共施設として過度の暴力表現、性的表現など公序良俗に反する表現は認められません。
 - ・商品 PR・広告（企業ロゴ・商品名を含む）などを目的とする映像作品は日本科学未来館での上映ができないため、選考対象外となります。

【既に完成または公開された作品の場合】

- 応募作品が受賞した場合は、受賞作品展での上映に向けて、指定のフォーマットへの変換・調整をおこなえること。

【日本科学未来館の球体展示用に新たに制作する映像作品（企画案・未完成作品）の場合】

- 応募作品が受賞した場合は、第 25 回受賞作品展での上映に向けて、指定のフォーマットで作品を制作し、完成させること。

※フェスティバル・プラットフォーム賞へ応募したものと同一の作品を、アート部門・エンターテインメント部門・アニメーション部門・マンガ部門に応募することはできません。4 部門とフェスティバル・プラットフォーム賞の両方へ同一作品の応募があった場合、どちらも選考対象外となります。

審査委員

川村 真司（Whatever Inc. クリエイティブディレクター／CCO）

水口 哲也（エンハンス代表／シナスタジアラボ主宰／慶応義塾大学大学院（Keio Media Design）特任教授）

米澤 香子（Wieden+Kennedy Tokyo Creative Tech Director）

審査用資料 提出物

【ジオ・コスモス カテゴリー／ドームシアター カテゴリー共通】

①作品イメージ（必須）

上映した際のイメージが分かる画像やスケッチ。

※ジオ・コスモスカテゴリーは規定のテンプレートを使用してください。

②コンテ（必須）

ストーリーやシーンの流れが分かるようにまとめたもの。

音楽や効果音については使用するシーンやイメージを記入してください。

③サンプル映像、デモ映像（必須）

作品の一部や完成イメージを表す映像、または作品を再生している様子を撮影した動画など。

※映像の長さには制限はありません。

④技術概要（アプリケーションプログラム作品のみ・必須）

どのような情報がどのように扱われて作品が作られるのか、という実行プロセスや、使用するソフトウェア、外部機器、システム構成等の技術的な要点を記載してください。

応募方法

作品の応募は、下記の手順で応募者アカウントを取得し、エントリーサイト (<https://fpaward.j-mediaarts.jp>) の応募者ホーム画面にログインして行います。
ひとつのアカウントから複数作品の応募が可能です。

手順 1 応募申込 [応募者アカウント登録]

1. メールアドレスとパスワードを入力し、アカウント登録画面に進みます。
2. アカウント取得のために必要な内容を登録します。(応募担当者氏名、所属、住所、連絡先等)
3. 登録したメールアドレスにアカウント仮登録のメールが届きます。
4. メールに記載されているリンクから応募者ホーム画面にアクセスすると、アカウント登録が完了します。

手順 2 作者・作品情報の登録

1. エントリーサイトにてメールアドレスとパスワードを入力し、応募者ホーム画面にアクセスしてください。
2. 応募するカテゴリーを選択し、作者情報・作品情報を入力してください。
作者情報 … 作者名、英語名、生年月日、国籍、出身地、居住国等
作品情報 … 作品名、フリガナ、英名、作品イメージ、作品概要 (600 字以内)、アピールポイント、コンテ、動画イメージ等

- ※ 作者情報・作品情報は受賞時に公式ウェブサイトや受賞作品集に掲載されますので、お間違えの無いよう正確に入力ください。
- ※ 日本語以外の言語を使用した作品については、翻訳・字幕用テキスト (日本語または英語) を必ず提出してください。
- ※ 上記以外で、審査に必要な資料があれば、併せてご提出ください。

手順 3 審査用資料の提出

1. 審査用資料 (p.4) を以下の方法で提出してください。
使用可能なサーバー、動画配信サービス、画像の投稿・共有サイト、ご自身のウェブサイト等に審査用資料のデータをアップロードし、URL を登録してください。
閲覧またはデータ取得に必要なパスワード等がある場合は、必ず詳細をお知らせください。
※審査のため 2022 年 3 月までの間は閲覧またはデータ取得可能な状態にしてください。

■ 動画配信サービス、画像共有サイト等を利用する場合 … Vimeo / YouTube 等
※動画配信サービスや画像の投稿・共有サイトを利用する場合は、各サイトの利用規約に同意した上で、作品を公開してください。
※アップロードするファイルの形式や容量は各アップロード先の規定に従ってください。

■ 上記以外の任意のサーバーを利用する場合 … データ形式は、mov / mp4 / m4v / wmv 形式のいずれかにしてください。
※上記フォーマット以外の形式は原則として受け付けません。
2. 作品イメージをアップロードしてください。
作品イメージ … 代表的なイメージ 1 点
(長手 1,000px 以上の png、jpg ファイル / 5MB 以下)

受賞後の制作物

応募作品が受賞した場合は、下記 A 映像コンテンツ、B アプリケーションプログラム作品のいずれかの形式で作品を制作してください。完成作品の場合は、下記の指定フォーマットに合わせた調整をしてください。

(完成した作品は、実際の機材・設備を使用して試写することも可能です。希望する方はお問い合わせ先までご連絡ください。日本科学未来館に設置している機材・設備の使用料は不要ですが、その他の費用については自己負担となります。)

[ジオ・コスモス カテゴリー]

A,B 共通

○作品の長さ

1分～3分程度

【補足】色再現性および輝度について

- ・色味は原則として自由ですが、白色については有機 EL パネルの焼き付き防止のため、若干輝度を抑えていただくなどの調整が発生する場合があります。また、パネルの中で、常時、線状（緑色など）に点灯している部分 600 カ所程度あります。黒の面積が広い作品の場合、この点灯している部分が目立つことがあります。
- ・有機 EL パネルのデバイス特性により、青色等、ジオ・コスモスでの上映に際して色味が変わるものがあります。

A 映像コンテンツ

○提出形式

映像データは、PNG 連番ファイルに書き出し、音声ファイルは別ファイルで提出してください。詳細は、指定フォーマット (p.8) に従ってください。

○作品の再生方法

作品は、ジオ・コスモス専用プレイヤーより再生されます。提出されたデータのインストール作業は日本科学未来館が行います。

下記の環境も使用できます。

オーバルブリッジの音響スピーカー仕様

- ・対応形式：WAV
- ・チャンネル：2ch ステレオ
- ・サンプルレート：48kHz
- ・量子化ビット：24bit
- ・チャンネル数：最大 32ch を 64 台のスピーカーより送出

B アプリケーションプログラム

○提出形式

制作した作品を実行可能な状態にインストールした PC を持ち込んでください。

PC の持ち込みが難しい場合、日本科学未来館の PC を貸し出しすることも可能ですが、スペック、機種指定はできません。(p7 の「【参考】日本科学未来館 PC スペック」をご参考ください。) 必要なソフトウェアの手配や環境の構築は応募者自身で行っていただきます。アプリケーションの実行プログラム、必要なソフトウェア等の必要な素材を提出してください。詳細は、指定フォーマット (p8) に従ってください。カメラ、センサー等の外部機器を使用する場合、必要な機器の手配および設置、調整は応募者自身で行っていただきます。ただし、日本科学未来館施設内への機器設置には構造上および運用上の制約がございます。詳細は、文化庁メディア芸術祭コンテスト事務局 jmaf-fpaward@cgart.or.jp までお問い合わせいただくか、または技術相談会にてご確認ください。

【補足】使用できるネットワーク環境について

インターネットに NAT 経由での接続が可能です。

作品上映に必要な接続先ドメインまたは IP アドレス、接続ポートのみ、確認の上で解放します。

インターネット側から上映用 PC への接続は不可とします。

○作品の再生方法

上映期間中（第25回受賞作品展の期間中）、持ち込まれたPCを日本科学未来館でお預かりし、同館のスタッフが実行し、上映します。

PCの持ち込みが困難な場合、日本科学未来館のPCから上映します。

アプリケーションから送出された平面映像を、正距円筒図法から球体にマッピングする処理は上映システム側が自動で行います。

※作品は、どの時間帯に再生されても成立するものとしてください。

（例：「毎日特定の時間にのみ動作するもの」は不可とします。）

【参考】日本科学未来館 PC スペック

下記は過去使用したジオ・コスモス用PCのスペックです。協議の上、日本科学未来館の利用可能備品の中から貸し出しをする為、下記を確約するものではありません。

OS Windows 10 Pro 64bit

CPU Intel Core i7

GPU Nvidia GeForce GTX 1080 / 8GB

メモリ 32GB

ストレージ 500GB（動作中に蓄積・生成されるデータやログ等も含む）

ジオ・コスモスとの接続方式 HDMI

【ドームシアター カテゴリー】

A,B 共通

○作品の長さ

3分程度

A 映像コンテンツ

○提出形式

映像データは、ドームマスター形式のムービーファイルで提出してください。

詳細は、指定フォーマット（p.8）に従ってください。

○作品の再生方法

作品は、ドームシアター専用プレイヤーより再生されます。

提出されたデータのインストール作業は日本科学未来館が行います。

B アプリケーションプログラム

○提出形式

実行環境が構築されたPCを持ち込んでください。

PCの持ち込みが難しい場合、日本科学未来館のPCを貸し出しすることも可能ですが、スペック、機種指定はできません。（OSはWindowsです。）必要なソフトウェアの手配や環境の構築は応募者自身で行っていただきます。アプリケーションの実行プログラム、必要なソフトウェア等の必要な素材を提出してください。詳細は、指定フォーマット（p.8）に従ってください。

カメラ、センサー等の外部機器を使用する場合、必要な機器の手配および設置、調整は応募者自身で行っていただきます。ただし、日本科学未来館施設内への機器設置には構造上および運用上の制約がございます。詳細は、文化庁メディア芸術祭コンテスト事務局 jmaf-fpaward@cgarts.or.jp までお問い合わせいただくか、または技術相談会にてご確認ください。

【補足】使用できるネットワーク環境について

インターネットにNAT経由での接続が可能です。

作品上映に必要な接続先ドメインまたはIPアドレス、接続ポートのみ、確認の上で解放します。

インターネット側から上映用PCへの接続は不可とします。

○作品の再生方法

上映期間中（第25回受賞作品展の期間中）、持ち込まれたPCを日本科学未来館でお預かりし、日本科学未来館のスタッフが実行し、上映します。

PCの持ち込みが困難な場合、日本科学未来館のPCから上映します。

※作品は、どの時間帯に再生されても成立するものとしてください。

（例：「毎日特定の時間にのみ動作するもの」は不可とします。）

指定フォーマット

[ジオ・コスモス カテゴリー]

A 映像コンテンツ

○映像

- ・解像度：最大 6204×3102 (px)
- ・地図投影法：正距円筒図法
- ・フレームレート：30fps
- ・対応形式：PNG（連番ファイル）

○音声

- ・対応形式：WAV
- ・チャンネル：2ch ステレオ
- ・サンプルレート：48kHz
- ・量子化ビット：24bit

下記の環境も使用できます。

オーバルブリッジの音響スピーカー仕様

- ・対応形式：WAV
- ・チャンネル：2ch ステレオ
- ・サンプルレート：48kHz
- ・量子化ビット：24bit
- ・チャンネル数：最大 32ch を 64 台のスピーカーより送出

B アプリケーションプログラム

○映像

- ・映像出力信号：3840x2160 30p/HDMI
- ・地図投影法：正距円筒図法（上下ストレッチ）

○音声

- ・音声出力信号：2ch ステレオ / アナログラインレベル

[ドームシアター カテゴリー]

A 映像コンテンツ

○映像

- ・解像度：最大 4,096×4,096
- ・形式：ドームマスター形式（アスペクト比 1:1）
- ・フレームレート：30fps または 60fps（特殊な書き出しを行うことで 120fps/2D 再生も可。要相談。）
- ・ムービーコーデック：無償配布されている Amateras Dome Player に同梱されている Amateras Encoder を用い、「リサイズなし 高品質」または「H.265 10bit 高品質」のプロファイルでエンコードしてください。
- ・立体視：2D/3D いずれも可
- ・色域：Rec.709 または Rec.2020（指定なき場合は Rec.709 で表示します）

○音声

- ・ファイルフォーマット：マルチチャンネル WAV
- ・サンプルレート：48kHz または 44.1kHz
- ・量子化ビット：24bit または 16bit
- ・チャンネル数：最大 8.1ch
- ・チャンネルマップ：全チャンネルを使う必要はありません。
ステレオ作品であれば 2ch-WAV、5.1ch 作品であれば 6ch-WAV ファイルとしてください。

Ch 1 : L	Ch 4 : SW	Ch 7 : SL
Ch 2 : R	Ch 5 : RL	Ch 8 : SR
Ch 3 : C	Ch 6 : RR	Ch 9 : TOP

B アプリケーションプログラム

○映像

- ・解像度 / フレームレート：最大 3,840×3,840/30fps , 2,800×2,800/60fps
- ・形式：ドームマスター形式（アスペクト比 1:1）
- ・映像入力端子：HDMI
- ・立体視：2D/3D いずれも可。3D 投影時は L/R それぞれを独立したディスプレイ出力として送出するように構成（2 画面出力となる）
- ・色域：Rec.709 または Rec.2020（指定なき場合は Rec.709 で表示します）

○音声

- ・チャンネル数：最大 7.1ch PC からの標準的なサラウンド出力として構成
- ・音声入力端子：アナログ入力（ラインレベル）コネクタ形状は適宜変換可

応募規定特記

応募作品の著作権と作品取り扱いについて

- 応募者は応募作品の著作権を有することが必要です。
作者（著作権者）以外の方が応募する場合は、必ず著作権者に許諾を得てください。
- 作品中に使用される美術、映画、写真、映像、プログラムおよび音楽等については、必ず著作権者の許諾を得た上で応募してください。第三者からの権利侵害、損害賠償等の主張がなされたとしても、応募者が自らの責任で対処することとし、主催者および日本科学未来館は一切の責任を負いません。
- 応募に伴う一切の費用は、応募者の負担となります。
- 提出された応募作品・資料は、原則として返却いたしません。
- 作品の送付および審査の過程、受賞作品展での展示において、万一の損傷や紛失が生じた場合、主催者および日本科学未来館は一切の補償はいたしません。
- 審査の状況によっては追加資料の提出が必要となる場合があります。
- 応募作品の審査経過・結果についてのお問合せは、事務局ではお受けできません。
- 受賞作品は日本科学未来館が最低一年間、無償で上映できるものとします。
期間、頻度については日本科学未来館と都度協議となります。
- 審査過程の範囲に限り、応募された作品・資料について複製等の行為をさせていただくことがあります。
- 応募によって作品の著作権が主催者へ移転することはありませんが、受賞作品は、主催者による審査結果発表、受賞作品展、広報およびその他関連事業において、複製、上映、公衆送信（放送・ウェブサイトの公開）、展示、翻訳、メタデータ及びサムネイル画像のメディア芸術データベースへの登録等の行為を無償でさせていただくことがあります。

個人情報について

文化庁メディア芸術祭実行委員会および日本科学未来館では、応募者の個人情報保護の考え方を以下の通り定め、これを遵守することにより、個人情報の漏洩、流用、改ざん等の防止に細心の注意を払います。

1. 個人情報の利用目的

応募者の個人情報は、以下の利用目的の範囲内でのみ利用させていただきます。

- (1) 審査結果の通知
 - (2) 応募作品についての確認事項のご連絡
 - (3) 文化庁メディア芸術祭関連事業のご出品等に関するご連絡
 - (4) 文化庁メディア芸術祭の向上に役立てるための統計分析
 - (5) 文化庁メディア芸術祭関連の展覧会や募集などに関するご案内
(希望されない場合は申し出により停止いたします。)
 - (6) 文化庁メディア芸術祭入賞者のマスメディアおよびウェブサイトへの公表
(作品名、氏名、所属等。なお、その場合は公表内容を事前に本人に連絡の上、確認します。)
- 上記目的以外で必要が生じた場合は、ご本人の承諾を得た上で利用することとします。

2. 第三者への開示・提示

応募者の個人情報は、適切な方法で管理・保護に努めてまいります。

応募者の個人情報を、ご本人の同意なく第三者に開示・提供は致しません。

ただし、文化庁メディア芸術祭開催、事務局運営の業務に必要な範囲内で業務委託先に開示することがあります。

また、人の生命、身体または財産の保護のために開示の必要があり、ご本人の同意を得ることが困難である場合、また法令により個人情報の開示が求められた場合はこの限りではありません。

3. 応募者の同意

応募者は上記「応募規定特記」の内容を確認してから、応募申込をしてください。

応募申込をもって、応募者および作者の同意を得られたものとします。

ご質問・ご相談について

文化庁メディア芸術祭コンテスト事務局では、応募に関するご質問・ご相談を受け付けます。

受付期間：2021年7月1日（木）～9月3日（金）

技術面に関するご質問・ご相談の受付は、8月27日（金）までとします。

宛先：文化庁メディア芸術祭コンテスト事務局 jmaf-fpaward@cgarts.or.jp

また、ジオ・コスモス、ドームシアターガイアの上映環境を見て作品制作の参考にしたい方や、日本科学未来館のスタッフに直接話を聞きたい方のために、以下のとおり技術相談会を開催します。

場所：日本科学未来館

日時：確定次第、ウェブサイト（フェスティバル・プラットフォーム賞 募集概要のページ）でお知らせします。

内容：ジオ・コスモス、ドームシアターガイアでコンテンツを上映しながら、日本科学未来館のスタッフが上映システムの特徴など技術面に関するご質問・ご相談に応じます。また、ご希望に応じて参加者ごとに個別にご相談いただける時間を設ける予定です。

参加申込み：事前の申し込みが必要です。開催日が決まり次第、ウェブサイト（フェスティバル・プラットフォーム賞 募集概要のページ）でお知らせします。

Q & A

応募する際に、出品料はかかりますか？

応募は無料です。ただし、送料等の応募に伴う一切の費用は、応募者の負担となります。

複数名で制作した作品は応募できますか？

応募できます。グループでの応募として、以下のいずれかの方法で作者名をご登録ください。

①個人名で登録する。(最大5名まで併記可能)

②グループ名で登録する。※必ず代表者の個人名を入れてください。

例：『作品名』 制作チーム (代表：個人名)

3D映像の作品は応募できますか？

3D映像はドームシアター カテゴリのみ応募できます。

VR作品は応募できますか？

応募できますが、受賞後の制作過程で、日本科学未来館のプラットフォーム（ジオ・コスモス、ドームシアターガイア）での上映に適した形に変換していただく必要があります。

カメラやセンサーを使用した作品は応募できますか？

カメラやセンサーなどの外部機器を使用したライブコンテンツやインタラクティブコンテンツでも応募できます。ただし、日本科学未来館施設への機器の設置には構造上および運用上の制約があります。詳細は、文化庁メディア芸術祭コンテスト事務局 jmaf-fpaward@cgarts.or.jp までお問い合わせいただくか、または技術相談会にてご確認ください。なお、受賞後の上映に必要な外部機器の手配および設置、調整は応募者自身で行っていただきます。

作品中に楽曲を使用しているのですが、一般社団法人日本音楽著作権協会（以下 JASRAC）などの音楽著作権管理団体への利用申込は必要でしょうか？

利用する音楽が JASRAC などの音楽著作権管理団体の管理曲の場合には、著作権について音楽著作権管理団体への利用申込が必要ですので、応募者が手続きしてください。JASRAC の管理曲か否かについては、JASRAC 公式サイト作品検索サービス等をご利用ください。

登録した作品情報に誤りがありました。どうすれば変更できますか？

登録後、募集期間内であれば登録済みアカウントでエントリーサイトにログインし、ご自身で修正が可能です。(ただし、2021年9月3日(金)日本時間18時以降は修正できません。)

一人何点でも応募できますか？

何点でも応募可能です。

海外に住んでいるのですが、賞金の支払いはどうなりますか？

日本円で賞金金額相当のお支払いとなります。

ジオ・コスモスの映像を再生する際の、初期の正面の位置(映像の中心)を任意で設定することはできますか？

できません。映像の中心は日本科学未来館の3F展示フロアからジオ・コスモスを見た際に正面となるように固定されています。ジオ・コスモスを下から見上げることを意識した映像や、自由な軸で回転する映像などを作成する際は、元映像を処理することで表現してください。

ジオ・コスモスカテゴリーで、360度カメラで撮影された動画を使いたいのですが、動画の解像度を、応募の際に指定のフォーマットにあわせて修正する必要がありますか？

応募の際は修正不要です。受賞作品については、受賞作品展で上映できるように、指定のフォーマットにあわせてご調整頂きます。

完成前の作品で応募を考えています。受賞した場合、制作の際にバックアップをしてもらうことはできますか？

映像制作そのもののバックアップはありませんが、日本科学未来館のジオ・コスモス、ドームシアターを使ったテスト上映は可能です。

前回（第24回）技術説明会で上映されたサンプル映像の色味を確かめることはできますか？

ジオ・コスモスの説明で上映した確認映像（2種類）の静止画を下記からダウンロードできますのでご確認ください。

<https://j-mediaarts.jp/wp-content/uploads/2020/07/Scene1-scaled.jpg>

<https://j-mediaarts.jp/wp-content/uploads/2020/07/Scene2-scaled.jpg>

過去の技術説明会の際、ジオ・コスモスのある空間では音のメリハリがあまり感じられなかった。

空間の性質上、音が広がりやすい為、メリハリをつけた表現が難しい場合があることを考慮の上、応募をご検討ください。なお、受賞作品については、ジオ・コスモスでの上映にむけた音源調整のために、現場で確認する機会を提供することができます。

ドームシアターのプロジェクターの位置を教えてください。

前方中央、後方中央に設置されています。前方のプロジェクターはスクリーンの後ろ半分、後方のプロジェクターはスクリーンの前半分を投影しています。

応募に関する問合せ先

文化庁メディア芸術祭コンテスト事務局

フェスティバル・プラットフォーム賞 担当 [CG-ARTS 内]

jmaf-fpaward@carts.or.jp

Tel : 03-3535-3501 ※受付時間：平日 10 時～ 17 時 30 分